



中村ロータリークラブ

例会記録 (2022～2023)

会 長/小 松 昭 二
幹 事/田 辺 豊
会報委員長/豊 島 幸 枝

創 立/昭和38年10月2日
例会日/水曜日 12:30～13:30
例会場/新ロイヤルホテル四万十
事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F
TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553
●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2722

第2853回 令和4年11月2日(晴れ)

本日のプログラム：会員スピーチ 土森 正一会員

11月8日(火)：米山奨学生スピーチ 3RC合同例会 (新ロイヤルホテル四万十)

11月16日(水)：美化ゾーン清掃例会

【会長挨拶】小松 昭二会長

- ・皆さんこんにちは。コロナ禍の行動制限が無くなってから東京・京都・名古屋・大阪・島根と出張が多くなりました。週の真ん中の水曜日が留守なので稲田エレクトにはご迷惑をかけました。
- ・現在、全国割キャンペーンが始まり旅館ホテルは満室の日が続いています。各旅行会社より予約が入りすぎてシステムがバンクし、断りの電話を入れている所もありますが、当ホテルはまだ助かってます。以前なら寝られないような状況でしたが、今では当日何とかできるとやっています。

【幹事報告】田辺 豊幹事

- ・ロータリーの「友」11月号配布
- ・ガバナー事務所より
 - ①RI理事佐藤芳郎様より各地区へ日本経済新聞へのポリオデー広告協賛のお礼状
- ・香川分室より
 - グローバル奨学生 田原 綾乃様の1年間の留学が9月で無事終了。最終報告書

・松山南ロータリークラブより

第17回ロータリー選抜野球大会参加のお礼と試合結果報告

・菊池RCよりクラブ計画書拝受

【委員会報告・会員発言】

弘内会員

野球部からです。11月25・26・27日と高松で第17回ガバナー杯野球大会が行われます。代表者会議、前夜祭が高松国際ホテル、26日の試合がレグザムボールパーク丸亀で開催されます。選抜大会は残念な結果になりましたが、ガバナー杯は昨年同様、優勝目指して練習しています。ぜひとも皆様応援に来てください。

【入会式】 佐田千聡様 (吾妻料理店女将)



(元会員 2019年11月～
2021年8月在籍)

職業分類は割烹・料亭

職業奉仕委員会、親睦委員会所属

(推薦者：田邊豊会員)



【本日のプログラム】 会員スピーチ 土森 正一 会員



土森正一です。いつもお世話になります。今日は「高知県の取り組み」について、簡単にお話させていただきます。〈※資料参照〉

1) まず、本県の人口の状況です。

本県の人口は、69万1千人余りで、人口構成は、高齢者の人口が若者の3倍以上多いです。今後しばらくは人口減少が続くことが予測されます。

このまま何もしなければ2060年には高知県の人口は39万6千人となると予想されています。

そうした中、少しでも人口減少を食い止めるとともに人口構成を若返らせ、自然減の縮小や社会増に向けた対策に取り組むことで55万7千人に踏み止め、将来的には人口が増加に転じることができると目指しています。

高知県が人口減少に立ち向かうための4つの政策としては、①地産外商により仕事をつくる。②若者の県外流出の防止 ③中山間地域の若者の増加 ④結婚して「妊娠・出産」「子育て」で若者の定着増加×出生率の向上＝人口増加に繋げて行こうとしています。

2) 経済の状況

平成21年から行われてきた高知県産業振興計画では地産外商が大きく前進し平成21年度から令和元年度を比較すると成約件数は9816件で56倍、成約金額は46億3千8百万で14倍、観光客数、観光消費額などでも大きく増加し、高知県の経済成長のエンジンとなっております。

地産外商を産振計画の軸にした、発想は、西土佐の「山間屋」が松山で西土佐の特産品を売っているのがヒントになったそうです。

付加価値や労働生産性の高い産業の育成、ウィズコロナ時代への対応という2つの大きな戦略の方向性の下、資料中段左に記載している5つのポイントにより施策を強化しています。

- ・産学官民連携によるイノベーションの創出
- ・関西圏との経済連携の充実強化

- ・輸出を見据えた地産外商のさらなる推進
 - ・「新しいひとの流れ」を捉えた中山間地域の振興
 - ・持続可能な地域社会づくり（SDGs）です。
- 3) グリーン化の推進～アクションプランの取り組み～
- ・CO2の削減に向けた取組の推進
 - ・グリーン化関連産業の育成
- 脱炭素化につながる新たな製品やサービスの開発等への支援、プラスチック代替素材の活用、またバイオマス資源によるグリーンLPガスの開発などに挑戦し、新たな産業の創出を図る。
- ・SDGsを意識したオール高知での取組の推進

その他、製品開発や再エネ・室戸海洋深層水電力、グローバル化の推進として、土佐酒輸出拡大プロジェクトなど海外展開支援を強化しています。

4) デジタル化の推進についての取り組みです。

県民生活の利便性、経済活動における生産性や付加価値を向上させるためには、AIやIoTといったデジタル技術の活用が必要不可欠です。令和2年度に行政分野だけでなく、生活分野や産業分野にもウイングを広げた、総合的なデジタル化の計画として、「高知県デジタル化推進計画」を策定し、取り組んでいます。この計画は「生活、産業、行政といった日常のあらゆるシーンにデジタル化の恩恵が及び、暮らしや働き方が一変するような社会」の実現を目指しています。

5) 関西戦略～さらなる外商強化策～

令和7年に開催が予定されている大阪・関西万博に向けて、関西圏の経済活力を本県経済の活性化につなげることを目的としています。

その他まだまだありますが、本日は高知県の現状を捉えて、故郷高知がどのような施策で未来に挑戦していくかをお話しをさせていただきました。

坂本龍馬さんの言葉で好きな言葉があります。「生を得るは事を為すにあり」と言う言葉です。先輩方が連綿と繋いできたこの美しい自然、文化、人、街、コミュニティの有る四万十市、高知県、日本を次の世代にしっかりと渡していく事だと考えています。一生懸命頑張ります。

本日はありがとうございました。

【ニコニコ箱】

■佐竹会員：先日のコンペでハンディ40ついて、371名中303位でした。しばらくお休みします。

【出席報告】

・会員総数56名（免除会員6名）

・本日の出席/35名 74.47%

・先々週の訂正

MU6 72.73%→87.22%